解放直後・在日済州島出身者の生活史調査（4・上）
――李健三さんへのインタビュー記録――

藤永　壯／高　正子／伊地知紀子／鄭　雅英／皇甫佳英
高村竜平／村上尚子／福本　拓／塚原理夢／李　陽子

A Survey of the Life Histories of Resident Koreans in Japan from Jeju Island in the Immediate Postwar Period (4) —Part I—
—An Interview with Lee Geonsam—

FUJINAGA Takeshi, KO Jeongja, IJICHI Noriko, CHUNG Ahyoung
HWANGBO Kayoung, TAKAMURA Ryohei, MURAKAMI Naoko
FUKUMOTO Taku, TSUKAHARA Rimu, LEE Yangja

本稿は，在日の済州島出身者の方に，解放直後の生活体験を伺うインタビュー調査の第4回報告である。かつて私たちは3回分の調査報告を『大阪産業大学論集　人文科学編』第102～105号（2000年10月，2001年2月，6月，10月）に掲載したが，メンバーの就職，留学などの事情でしばらく活動を中断していた。その後，2005年より新しいメンバーを加えて調査を再開させることができ，その最初の成果が本稿ということになる。なおこの調査の目的や方法などは，「解放直後・在日済州島出身者の生活史調査（1・上）」前掲『大阪産業大学論集　人文科学編』第102号，に掲載しているので，ご参照いただきたい。

今回の記録は，東大阪市在住の李健三さん（仮名）のお話をまとめたものである。李さんは1937年，大阪市のお生まれだが，ご両親は，韓国・済州道済州市朝天邑新村里（現行の行政地名）のご出身である。また，インタビューには妻の張玉蓮さんが同席してくださった。張さんは1934年，済州道済州市禾北洞（現行の行政地名）のお生まれである。（済州道は2006年7月1日より「済州特別自治道」となり，北済州郡は済州市に，また南済州郡は西帰浦市に統合された。したがって現行の行政地名は，前3回の調査報告時から変更されている場合がある。）

インタビューは2006年4月29日，東大阪市の李さんのご自宅で，藤永壯・高正子・伊地知紀子・鄭雅英・皇甫佳英・高村竜平・福本拓・塚原理夢の8名が聞き手となって実施し，これに村上尚子が加わって，テープ起こしと第1次編集をおこなった。李さん，張さんに第1次編集原稿をチェックしていただき，テープ起こしに際しての不明箇所を確認するため，

平成19年2月28日　原稿受理
大阪産業大学　人間環境学部

2007年2月19日，藤永が再度李さん宅を訪問した。鄭と伊地知が全体の整理と校正，村上と藤永が用語解説，鄭と高がルビ校正，福本が参考地図の作成，藤永が最終チェックを担当した。なお李さん，張さんご夫妻の三女・李陽子さんには，インタビューに同席していただき，確認作業でも多大なご協力をいただいたため，記録者の一員としてお名前を掲載させていただくことにした。

以下，凡例的事項を箇条書きにしておく。

（1）本文中，文脈からの推測が難しくて誤解が発生しそうな場合や，補助的な解説が必要な場合は，［　　］で説明を挿入した。

（2）とくに重要な歴史用語などには初出の際＊を付し，本文の終わりに解説を載せた。なお前3回の調査報告からかなり時日が経過しているため，今回は以前掲載した用語も再掲することとした。

（3）朝鮮語で語られた言葉は，一般的な単語や固有名詞などの場合には漢字やカタカナで，特殊な単語や文章の場合はハングルで表記し，日本語のルビをふった。

（4）インタビューの際に生じたインタビュアー側の笑いや驚きなどについては，〈　　〉で挿入した。

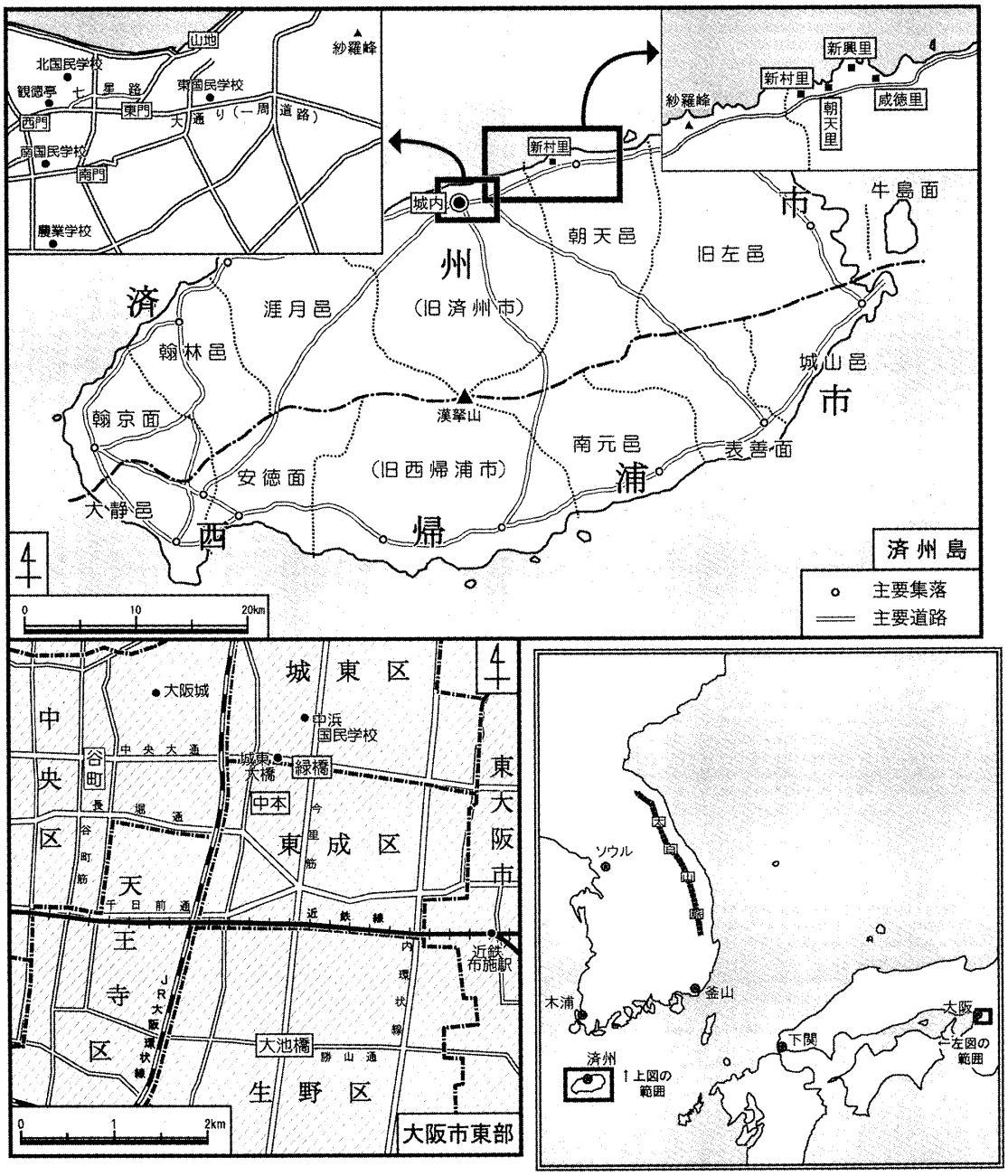
大阪で迎えた民族解放

《両親の渡日》

――最初，お父さんが日本に来られたのですか？

李：もちろん，うちの親父ですよ。おそらくどうも，話の様子聞いとったらね，普通，無理やり連れて来られた，そんなんじゃないみたいでね。それこそ若者がね，あちこち旅に出たくって。言うのを聞いとったらね，シベリアまで行ってますねん〈数名：「へーっ」〉。シベリアも行ってるし，日本来てからは横浜で洋服のあれは習ってますねん。横浜のときのミシン，あんまり忙しくてね。ここ，ミシンのあれ［針］で傷ついたいうことまで，疲れて居眠りしながらミシン踏んで，ミシンのこの針のあれで頭怪我した，そういう話もやっとったし。

まあ仕事も好きやけど，どっちか言うたら遊ぶほうも好きでね。もう花札とか，そんなんも好きやし。たまに横浜やから外人の女なんかでも結構見たん違います？　あの，「猫みたいな目しとる」言うて。だからおそらく今の若者と一緒でね，じっと同じとこ［にいることが］できなくて旅に出たつもりで。しやから，それでも，ちょっとすばしっこい言うんかね，目先が利く言うんかね。あの関東大震災のとき，あるでしょ*1。あの時，こっちに逃げて来とるんですよ。震災に遭（お）うてるんけども。


山地
紗羅峰
北国民学校
観徳亭
十星路
東国民学校
西門
東門
大通り（一周道路）
南国民学校
南門
農業学校
新興里
新村里
紗羅峰
朝天里
咸徳里
新村里
城内
牛島面
朝天邑
旧左邑
済
州
市
涯月邑
（旧済州市）
翰林邑
城山邑
市
翰京面
漢拏山
南元邑
表善面
安徳面
（旧西帰浦市）
浦
大静邑
西
帰
済州島
主要集落
主要道路
0
10
20km
城東区
大阪城
中浜
国民学校
中央区
谷町
中央大通
城東大橋
緑橋
中本
長堀通
谷町筋
今里筋
東成区
東大阪市
天王寺区
千日前通
近鉄線
近鉄布施駅
内環状線
JR大阪環状線
大池橋
勝山通
生野区
0
1
2km
大阪市東部
ソウル
釜山
木浦
大阪
下関
済州
↑上図の範囲
←左図の範囲

――横浜から大阪へですか？

李：そうそう，あの当時だいぶ殺されたでしょ？　そういうのん察知したんかどうか，「逃げて来た」言うとったから。危険感じて，逃げて来たんでしょうね。だから仕事は真面目やし，仕事好きなんは私，受け継いでますけど。あの，ほかもよう似とるとこある，言われてるけど。

あの親父は結構，戦時中は軍服縫うとったみたいなんです。それで職人らも，結構使(つこ)うて。また済州島(チェジュド)から出てきた若い子らも，うち頼って来とったりしとってね。クナボジ［父方の伯父］の息子なんかもね，こっち来た時はうちへ身寄せたことある言うんですかね，旅館がわりに使った言うんか，どうか分かりませんけども。当時［解放前］は行き来自由やったからね。しやから，［済州島には］日本行って来た言うて来る若い連中がいっぱいおったんでしょ。それで，こっちで働こう思うて来て，また戻った連中がいっぱいおるみたいでね。日本来て，ちょっとでも［知識を］身につけて。学校，まあ行ったかどうか分かりませんけど，戻って向こう［済州島］で小学校の先生やったりね，いろんな。うちの従弟なんかでも，小学校の先生やっとったし。やっぱりちょっと指導的な立場，戻ってる若者らいっぱいおりましたね。

だから，うちの親父もやけど，うちの母親がすごく，そういう若い子らに対して面倒見よくってね。当時から職人らにでも栄養つけるために，ケジャンクッ［犬肉煮込み］いうて聞いたことあります？　あんなんで職人らに。軍服縫うためやったら，相当な無理したんでしょ，追い立てられて。栄養つけるために，ケジャンクッ作ってやったとかね。

――戦時中に軍服縫っていたのはどこですか？

李：ああ，それは中浜，緑橋。私そこで生まれてますねん。

――お父さんは済州島(チェジュド)で結婚してから，日本へ一人で来られたんですね。

李：そう。［母親は］勝手に追っかけて来た。そらなんですよ，来てみたら他の女と娘までつくって産んでるのに。それをもう，追い出して。

――何人兄弟ですか？

李：５人ですわ。まあ，一番上の姉さんはちょっと離れて。33歳で亡くなって。

――お母さんがこっちへ来てから，男の子４人？

李：産んでますねん。

《敗戦直後の大阪》

――引き揚げられたのは，終戦迎えて1年くらい経ってからですか？

李：終戦。私それこそ，終戦迎えたん長野ですねん。それも疎開先ですねん。姉らと一緒に塩尻［に疎開して］。それから大阪に戻って見たら，緑橋もごっつい1トン爆弾の穴あいて，学校はぐしゃぐしゃになって。それでも子どもはね，遊ぶことしか考えていません。つぶれた学校の，自分らが行っていた学校の窓の戸の下のコマ，みんなはずしてきてね，それをみかん箱の板みんなはずして十文字にしてくっつけて。城東大橋いうて，緑橋の坂の上から，それ乗って，ウェッと［滑って］遊んでましてんで。学校はそれこそ爆弾でぐしゃぐしゃになっているのん，そんなん，みんな集めてきて，そんな遊び。今のイラクでも一緒違いますか。あんなして，大人ら戦争していても，子どもは遊ぶこと，遊ぶ場所ばっかりやと思いますよ，頭にあるのは。

私ら，実際あの，終戦直後，長野から引き揚げて来た時，あの，不発弾，よう爆発してましたん。特にその大阪城のあっこらへん，不発弾いっぱいあったんやからね。ほんで私ら，あそこ，つぶれかけの家，子どもら行って，手伝（てつど）うたら柱1本くれるでえ，言うてね。あの，縄かけて，大人ら引っ張っているの，一緒に手伝うふりしてから，縄一緒に引っ張ったら柱1本くれますねん。それ担いで，家持って帰ったら母親喜ぶんですよ（笑）〈一同：「ふーん」〉。たきぎ……〈一同：「ああ」〉。当時はガスも何も通ってなかったからね。そんなやってから，しょっちゅう行っとったもんやから。

ある家，そこ行って帰りね。あの，不発弾のこれぐらいの破片がね，目の前ぶーんと落ちて。あの，電話のあの線切って下へ落ちたんね，目の前，見たり。ほんであの緑橋のとこでは，夏，夏，アスファルトもう溶けかけの時やったから。あれ本屋かどっかからかね，出て来た人が不発弾でここちょうど，がーっとえぐられてね。ほんでばーっと倒れてるのを見て。見たらもう，ぷっかぷっかぷかとね，血管何して，脳がもう何したりね，脳がそこら散ってるしね。ちょうどあの，あれ，ケネディ大統領，あれ撃たれたとき，思い出しましたよ。そういう状態やった思いますわ。みんな近づきませんやんか。まあ私はもう，近くで見たけど，よう手つけられんけれども。

一人おばあさんが来てね，「かわいそうや，かわいそうや」言いながらね，ばーっとそれを集めるんですよ，うん。あとで見たら墓守のおばあさんでした。どっかの墓で，墓守してるおばあさんやいうことで。そやからもう，子どもながらに，いろんなね，あれ見てるからね。

――引き揚げの前に朝鮮語も習われたのですか？

李：ここで，小学校で夜間やってましてん。朝鮮学校のね，夜間行ったん覚えてますねん，ちょっとやけどね。そのとき失敗したのも覚えてますねん。黒板で先生がこうやって[見えないから]，私が「おっさん見えへんで」言うて〈一同：笑〉。あくる日その先生うちの家来て，うちの親父と酒飲んでますねん。こんなんして，あんたの息子にこんなん言われた，ちゅうて。一生懸命謝ったん違いますか。いや，先生に見えませんもん。

――先生は朝鮮の人ですか？

李：もちろん，朝鮮語の夜間学校やったから。

――緑橋のところにあったんですか？

李：中浜国民学校［現・大阪市立中浜小学校］。今でもある思いますよ。

――そのときハングルをちょっと習ったのですか？

李：いや，習(なろ)たん，ほとんど覚えてませんね。記憶にありませんわ，習(なろ)たいう。ただ，面白半分で。子どもら集まるからね，集まるんで。もちろん習(なろ)てるは習(なろ)てるんやけど，ハングルまでは覚えていませんね。言葉なんかでも，子どもって言葉に不自由せいへん言うの，あのとき思い出してよう分かりますねん。1ヵ月でべらべらになりましたもん，済州島(チェジュド)行って。

引き揚げ

《済州島まで》

――一家で済州(チェジュ)に引き揚げられたのは何年何月ですか？

李：終戦の明くる年。そこ［何月］まで覚えていませんね。引き揚げたとき新村(シンチョン)*2でしてん。うちの伯父さんが，クナボジが，あの，おって。もちろんうちの父親の家もありましてんけど，そこはちょっとまだ年寄りのお母さんが一人で住んでて。小さくて，そこはちょっと入れなくて，クナボジのとこ。

昔の家は2軒，こう建ってね。奥のほうは主人らが住んで，表のほうは入り口挟んで，反対側が牛小屋，反対側に離れみたいに一家住めるような状態。そこに世話なってね，一応その後どうするのかいうのん，そこは子どもやから分かりませんけどね，うちの父親も畑，持っとったし。農業やるつもりで，そっち行ったんか分かりませんけど。

その，うちの母親はとにかく息子4人産んでますねん。長男はこっち［大阪］で。姉さんが「弟を置いていきなさい」言うて。その前に，4歳年上の兄［次兄］が戦時中に縁故疎開でね。小学校4年のときに，先，行っとったんですわ，済州島（チェジュド）へ，新村（シンチョン）に。その息子のために，うちの母親が「とにかく引き揚げる」言うてね。向こうへ行って，「息子一人にするのかわいそうやから」言うて。下の私と，私の弟の二人を連れて。

ほんで父親，行くの嫌や言うのをね。もう，うちの親父は洋服の職人ですねん。どこでも食いっぱぐれ，ないからね。なんであんなん，「また農業なんか，やんの嫌や」言うてね。それを無理やりにね。やっぱり手に職，持っとるからね。息子ら生かすためにはまあ，連れて行って，無理やり連れて行って。ほんなら大阪駅でなかなか，逃げてね，捕まらなくって。ほんでうちの母親がね，近所の人らに頼んで「何とか探してくれ」言うて。大阪駅へぎりぎりに連れて来てましたわ。酔っ払ってね，ここ擦りむいて(笑)。あれ溝に，はまったかしてね。擦りむいて，それを無理やり乗せて。目覚めたんが玄海灘［玄界灘］の中間の船の中ですねん（笑)。目覚めてからブウとしたあの表情，今でも覚えてます。

――船はどこから乗ったんですか？

李：船は下関。しやから大阪駅で寝て，目覚めたんが船の中でね。それも途中で，ちょっとあれが，エンジンがおかしいいうて，船が止まってね。「これで終いかな」言うてて，また動いてね。何とか，木浦（モッポ）ですか？　釜山（プサン）じゃなしに。降りて，そっから。いやいや，釜山（プサン）から木浦（モッポ）でしたわ。釜山（プサン）行って，木浦（モッポ）行って，木浦（モッポ）から済州（チェジュ）へ。

《新村での生活》

――大阪から新村（シンチョン）に帰られたら，やっぱり食べ物とかも全然違いますでしょ。

李：そら，あの，米なんかありませんわね。麦と粟。粟でも2種類で，モチ粟と普通のんとね。ほんで，麦は皮剥いて白っぽくしてね。ほんで，米いうたら，法事のときとか，ああいう，あの正月とかね，8月［陰暦］のときに。곤밥（コンパブ），곤밥（コンパブ）*3，言うてましたね。きれいなご飯，きれいなご飯，言うてね。

引き揚げて行ったときが，多分夏やと思いますわ。はじめ船，降りたんが城内（ソンネ）*4ですね。あそこ［山地港］で降りて，大通り（ハンギル）［一周道路］まで歩いて上る途中，家がありますねん。私「あれ，馬小屋か」言うて。後で見るとみんな普通の家でね。ほんで，新村（シンチョン）行って，新村（シンチョン）の家でも，また「オイ，2階行って遊ぼ」言うてから階段探しても「そんなのない」言われてね。

今度は「海連れてってやるわ」言うて，誰に連れられたか知らへんけど，海連れて行ってもらいましてん。干潮のとき連れて行ってもらったと思うんです。向こう，新村(シンチョン)の海は，溶岩流れた後の，砂浜じゃなしに，溶岩の岩場の磯ですから，生き物いっぱいおったんですよね。こっちはそんなん見たら，気わくわくなりますやんか。何ちゅう生きもんがおるんかな思いましてね。大阪おったときなんか，淀川，あっこ行ったら，小さいウナギ，フナとか，あれ採るのんが精一杯やったけど，海の魚はきれいやから，興奮してしまって。小学校2年のときやったから。新村(シンチョン)行って，最初に思ったことはそれですわ。

それからは学校に入れられて。どっちか言うたら，当時の子どもはみんなそうかも分からんけども，喧嘩しながらでも引っついて，群れなして，夜中なったら猫追いかけて走り回ったり。言葉が障害に感じたことなんか，全然なかったですよ。言うてたことは1ヵ月でもうべらべらなったわ。だから，言葉に不自由したことなくって。

3年のときに城内(ソンネ)へ移りましてんけど。ここでちょっと，新村(シンチョン)の時に，すでにあれはありましたやろ，4(サ)・3(サム)事件(サコン)の前兆みたいなん。

――前の47年くらいから，ぼちぼちそういうのはあるんですけどね。

李：だから，李徳九(イドック)*5が警備隊隊長かなんかなったとき，すでに始まっていたん違います？

――李徳九(イドック)が［遊撃隊の司令官に］なったのは，もちろん4(サ)・3(サム)が起こってからです。

李：いや，あのね，私が南国民学校(ナムクンミンハッキョ)*6来る前やから，小学校2年のとき。クナボジの嫁さん，伯母さんですわね。伯母さんが道端立って，近所のおばさんとね，何か話しているのん，チラッと聞いてしまったんです，私が。あの時，あれっと思ったんが，「앗아불주(アサブルジュ)」言うてた。앗아불주(アサブルジュ)わかります？　当時は，殺してしまえ。誰に聞いたか，母親に聞いたと思う。「앗아불주(アサブルジュ)はどういう意味や」と聞くと「殺してしまえ」いう意味や。

わし，小学校のときに，すでにそれね，同じ新村(シンチョン)の中でね，共産党になんのんと，反対すんのんと，分かれとったいうことやと思うんですよ。だから，新村(シンチョン)での東村(トンチョン)と西村(ソチョン)あるんですわ。東村(トンチョン)いうたら，うちの全州李氏(チョンジュイシ)が固まっているし。西村(ソチョン)いうたら，西の村いうたら，おそらく合わなかったん違いますか。おそらく同じ近所でも，そういうあれ，あったかも知れませんが。あんな伯母さんでも「殺してしまえ」言うくらいやから，よっぽどのことがあった思いますよ。同じ村の中で，殺せとか何とか言うて，やってんの見たらね。こら，そういう情報入ったらすぐ知らせますやろ，反対側に。ほんだら，だいたい山から降りて来よったいうたら捕まえる。いうて捕まえたら，もう家族も

ろとも，みんなやってしもた，思いますよ。

――子どもでも何か分かります？　あっちとこっち［東村と西村］とで雰囲気が変やな，とか。

李：そら，普段から全然付き合いないしね。ちょうどその間に水があるんですよ，山から湧き出る。そこに，そこで沐浴（モギョク）したりね，洗いもんしたりするとこ。そこ境にして西と東，分かれてますねん。ほんで当時のあれは，その間，家もちょっとなかったような気もするしね。おなじ新村（シンチョン）やけども。あの西と東だけやない，おなじ東村（トンチョン）の中でもね，何か，そういうあれがあったような気もするけどもね。

それ，うちの母親が，周りの雰囲気を察して。息子3人こんなとこに置いておいたら亡くす，いうことで。うちの母親が，当時引き揚げたとこやのにね，城内（ソンネ）に家買おうと思ったら，よっぽどじゃないと家買えませんやんか。おまけにああいう，ええ場所に。

当時，うちの姉さんがこっち［日本］，上の兄［李さんの長兄］と一緒に残ったんやけど，姉さんの旦那がちょっとやり手で，ゴムの長靴の工場[*7]をやりましてん。それがもう，当たったんかどうか知らんけど。済州島（チェジュド）で聞くうわさでは，姉さんとこはえらい金儲けているとかね。実際，儲けてたでしょ。毎朝，長靴を買って，どっか行って売る人が，工場に列をなしているいう話で。そのときうちの母親が，そこへ。当時は［日本と］行き来が自由やったから。姉さんとこ来て，家買う相談をして，そのお金をもろうたんか，それとも品物でもらって処分したかどうか知らんけど，家買ったんですよ，城内（ソンネ）に。城内（ソンネ）に移ったんが，小学校3年の時やから。

――引き揚げの次の年ですよね？

李：そうそう。そこで見たら，ここ［新村］置いといたら，子どものためにならん思うてね。早速，城内（ソンネ）に連れて行った，いうことですよ。

――長女のお姉さんは，どこで長靴工場をやってはったんですか？　生野区で？

李：大池橋で。徳山いうて，当時生きてた人はみんな知ってますわ。そらあ，兄さん見たら，シェパード何匹も飼（こ）うていて，ハーレー乗ってましてん。

城内に引っ越して

《日々の暮らし》

——家は城内(ソンネ)のどのあたりにあったのですか？

李：東，南，西に門があったでしょ。当時は城内(ソンネ)，言うてね。城内(ソンネ)やけども，北側は海やからね。私ら，その東門(トンムン)いうてね。東門(トンムン)の東門通(トンムントン)。番地までは覚えていませんわ。いつも冬になると凍ってからね。スリップしてね。ほんで，山の鹿が降りてきて，みんな捕まえたりして，血吸うたりしてね。

——お父さんはどんな仕事をしていたのですか？

李：ちょうど東門通(トンムントン)の坂，下がって斜めの道，右へ山地(サンジ)のほうへ降りる道と，真っ直ぐと左へ入ったら，ずっと上がって行ったら，今でもあるんかどうか分からんけども，昔，桜のあれで，地図，あれ日本の人が書いたあれや思いますけど。お寺みたいな建物でね。そこ，桜がいっぱい咲いて。ちょうどね，五叉路ぐらいか，角にありましてん，うちが。だから，そこで洋服の注文屋やって。いっつも，もう何にも，注文屋言うても，何でも屋でね。私らよう，裏返し言うて，手伝わされましてん。裏返し言うて，普通の服，古なってきて，裏返してこっちのポケットをこっちにつくやつをね，ここ，みんな縫うて穴うめたりして。しやから，食べもんとか，生活に日銭が入ったからね，全然困ってなかったみたいで。

——食事のおかずとかはどんなものだったのですか。

李：おかずは……。うちはやからね，あの，市場の横でしょう。夕方，市場行ったら，あの，牛のあれ，豚はもちろんやけども，牛の皮，剥いたやつ，ブラーッとぶら下がってて。ほんで好きなとこから切り取ってね，ええ，ええ。一応みなハンコ押してあるけど，あれは検査のハンコやと思いますけどね。ほんで，農業学校でしょう。生徒の中にいろんな職業の家の子ども，おるんですわ。たまたまこっちは，その，ピジェンイのね。ピジェンイってわかります？

——白丁(ペクチョン)*8ですね〈数名：「ああ，そう」〉。

李：そこの子どもらが2，3人おったんですわ。陸地[朝鮮半島本土]から来た人らやろね。地［済州島］の人はいないねん。陸地から人らがね。また，そういう子どもらはみな体

格いいんです。食べ物がええからね。ほんな，学校行ったら，スポーツね，やったら，もう何やってもね，トップ取るからね。

あの，学校で先生どうしが立ち話してるのん，横で聞いたことがありますねん，先生二人がね。その，あの，マラソンはできる，ものすご体格はええ，同じ学年でも，それこそ飛び抜けてええ子のことをね，片方の先生は褒めとるんですよ，「あれはすごいな」とかね。ほんならピジェンイの［担任の？］先生が，「ああ，あれはピジェンイや」，こんなん言いますねん。「あれはピジェンイの子や」言うてね。先生でもこんな差別感持ってんねんな思うて，呆れたことあるんやけどね。それ言うたんが，当時の副校長でしてん。まあ，英語担当のあれやけども。そやから，かわいそうでしたよ。

ほんで，あの，体格ええもんやからね，豚殺すの手伝わされたりね。ある日，学校終わって，海のほう遊びに行こう思うて，弟らと一緒に行ってたら，途中でその，そいつが豚殺しとるんですわ。もう名前は忘れたけども。もう，丸太持ってね。道っぱたで，丸太で頭撲って，豚殺して。逃げ回ってるやつを。もう，親に言われて，殺せ言われて，殺してるでしょ。そやけど，いやいややってるのは分かりますねん。そらよう分かるんですわ。

もう，ものすごい，どう言うんかね，気の優しい子でね。ほんでいつも冬休みなったら「自分とこ，遊びに来てー，遊びに来てー」言うて。ほんで，行ったら，冬，あの当時，冷蔵庫も何もないし，冷凍庫もないでしょ。そやから，そういう部屋が一つあって，そこへみんなそういう，あの牛肉のあれをね，ぶらさげてるとこ，見たりしたけどもね。で，「欲しかったら持っていけ」とか言うけども，そんなん別に魅力ないし。そやから，みんなね，あのスポーツできて，気優しいし……。けども先生まであんな言われてねえ。かわいそうやなあ言うて，そういう気持ち持ってました〈一同：「ふーん」〉。

――市はどのへんに立ってました？

李：えーっとね，その観徳亭（クァンドクチョン）*9より，ちょっと海寄りやったねー。あの，2週間かな，1回，市が立つんですよ……。ほんな，田舎のほうから，田舎のほうからね，ニワトリやら，いろんなん持ってきますねん，売りにね。ほんな，私ら行ってから見て「あ，あのメンドリ卵産みそうやな」思たらね（笑），「おばちゃん，見せて」言うて，こうして尻から指突っ込みますねん。尻，指突っ込んだら，あと何時間かで卵産まれるゆうんか分かるんですよ〈数名：驚き〉。ほんだら，ほんだらね，「おばちゃん，これ買うわ」言うて，お金払（はろ）といてね。家持って帰って，卵じーっと待って。卵産んだら，持って行って「ああ，おばちゃん，もうこれあかんわ」言うて，「お金返して」言うて〈一同：笑〉。

そんなんばっかりやってました〈一同：笑〉。そやから，明日産むとかね，そんなん，みんな分かって。そやから市場行ったら，そういうことばっかりやっとったからね。

——市には方々から品物を持ってきて売るのですか？

李：そうそう。田舎からざーっと，みんな担いで来てね。ほんで売れ残ったら，またうちに，帰り道ですやんか，うちに寄ってから「これ，ちょっと預かって」言うてね。預けといて，次の市まで母親が預かったりしてましてん。ほんで，たまに「田舎遠すぎて帰られへんから，ちょっと泊まらして」言うて，泊めたったら寝小便されたりねえ〈一同：笑〉。あくる日，そのおばさんが布団の上でじーっと座って，なかなか出て来えへん。ほんで，「どないしたんや」言うて話聞いたら，やっぱし疲れてたんかしてね，寝小便したり（笑）。

ほんで，1回は蜂蜜一升瓶をね，それをうち預けといて行ったんはええけど，弟と私と二人それ見つけてね〈一同：笑〉。「しゃもじ一杯だけ，一杯だけ」言うとったんが，2週間，2週間たったらきれいになくなってしもてね〈一同：笑〉。それさっき言うた，その部屋，物入れのほうね，そこにあの，芋とかね冬のあれとか……藁とかいっぱい積んでますねん。その底のほうへ隠しとるやつを，弟と二人探して，一口一口やっとったら，2週間たったらきれいになくなってしもて〈一同：笑〉。ほんで，ある日学校から帰ったら，そのおばさんとうちの母親と二人で，何か一生懸命，その瓶を置いてね〈数名：笑〉，やっとんねん。「ああ，こらもう，あとでひどい目に遭うな」思うて〈数名：笑〉。ほんで腹決めて。それでもね，母親何も言わんとね，ただ笑（わろ）てるだけで。そういう母親でしてん。そやから，もう……そやから，食べもんだけは，それこそ，こっちでは想像できへんくらいね，贅沢に食べてます〈数名：「ふーん」〉，私は。

《学校生活》

——学校はどこに通われたのですか？

李：私は南国民学校（ナムクンミンハッキョ）いうてね，南小学校ですねん。昔，あの植民地時代に日本人の子弟だけが通っとった学校ですわ。ほんで北小学校いうたら大きな学校でね，そこは現地の子らが行っとって，私ら途中で編入やから，入るとこないから言うて，一番小さい学校でね。南小学校。まあ，小っそうても設備は整っとったけども。ほんでそっから農業中学校[*10]へ上がったんですよ。農業中学校のこと，何か分かりますのん？

——日本の植民地時代には農業学校，済州（チェジュ）では一番上の学校。

李：もちろんそうやけども，その学校の規模がね，私，札幌に農大あるんですか？　それと同じ規模や思いますよ。もう，すごい学校やったもんね。あの，運動場だけでも六つありましたもん。朝礼場別にあるし，サッカー場，テニス場，バレー場，そこからとにかく六つくらいありましたね。

――場所はどこらへんにあったんですか？

李：あの，南門通（ナムムントン）の坂上ったとこ。私，あの学校入ったとき，ともかく動物が好きでね。日本から小学2年で，向こう，親に連れられて行ったけども，こっちおったとき，生き物なんて見てませんやん。向こう行った途端に海のもんから山のもんから，あらゆるもんが珍しくてね。ほんで，小学校の間，そういう環境で過ごして。農業中学いうたら当時私ら入るとき，競争率17倍でしてん〈数名：「ふーん」〉。島中の小学校の一人か二人ずつだけ，そこへね。それ日帝時代からそういうシステムで建てた学校なんでしょ。そやから，まあ言うたら，将来見込んでね，済州島（チェジュド）の農業発達さすために。また気候的に植物の種類が多いみたいなんです，亜熱帯やから。みな学校入ったら，一つ一つみな名前つけてね。ほらもう，きれいな学校でしたよ。

私ら当時6年制でABC，3クラスなんです，1学年で。6年制で，それはもう上から下まで変わってなくてね。あの，何言うんですか，学校の中に小川が流れて。羊なんかも実習なんです。4年なったら，みな実習なんです。畜産科は畜産科で，農業は農業で。畑の仕事やるもんもおれば，畜産いうたら小川のところで羊腹割いてね，皆ノートとったりしてね。獣医さんコースなんかもあったんでしょうね。私は3年しか行ってなかったから，そこまで行ってなかったけど。そら言ったら，済州島（チェジュド）の豚て，どんな豚か見ました？

――あの糞豚（トンテジ）ですか？

李：小っちゃい黒いのんで，昔私らのとき，トイレで飼（こ）うてましたやんか，水洗の代わりに。そんなんしか見てないのに，学校入ったら，学校にヨークシャー言うてね，あの白いのん，でっかいのんがおるしね。また馬いうたら馬で，蒙古馬ですか，小っちゃいのんしか済州島（チェジュド）はないのに，学校行ったらサラブレッドおるでしょ。羊，山羊，もう鶏はもちろん，あらゆる動物がおってね。それこそ動物園，顔負けなんですよね。それをみな1年生から入った夏休みなんか，先輩と一緒に当番するわけなんです。面倒みてね。羊，毛刈るときなったら刈るときで，先輩らと一緒に毛切るの手伝ったりして。そら楽しいもんでしたわね。

――畜産科だったんですか？

李：そうです，そうです。

――農業中学は何歳で入学なんですか？

李：いや，ここと一緒でしょ。

張：［数え年で］13歳くらいやね。

――一クラス何人くらいですか？

李：一クラス，男子校ですねんね，そやからまあ，40人いうことはないですわ。だいたい60人くらい，なんのと違うかな。私ら小学校行ったとき80人でしたよ，南国民学校(ナムクンミンハッキョ)ね。南国民学校(ナムクンミンハッキョ)行ったとき，80人普通でしたよ〈数名：「へー，すごいね」〉。

《先生の死》

張：何か先生方がみな，何か括られて連れて行かれたいうて……。

李：ああ，あれは，あの，その新村(シンチョン)から城内(ソンネ)の小学校行ったときに，小学校3年のとき移って。で，入ったら，ちょうど，小学校の先生が毎朝，馬乗って来るんですよね，担任の先生がね，道頭里(トドゥリ)から〈数名：「ほーー」〉。あの，蒙古馬，言うんか，あれ乗ってから，鞭持って，毎朝来て。ほんで，九九算，みな習(なろ)てるときでしたわ。こっちは九九算なんか見始めやったんや。学校あちこち替わってる間に，あの，九九算なんか全然習(なろ)てもないのに，「覚えてきてない数だけ鞭でしばく」言うてから〈一同：笑〉。馬の鞭で，毎朝机の上立たして，ここ［足のすね］めくって。ここめくったら，残りの分だけ叩きますねん〈数名：「ほおーー」〉。その分だけ覚えるの早かったけどね〈一同：笑〉。ほんで，その先生がある日突然来なくなって。ほんで，まだ小学校3年やから，そんなん，何でとか，そんなん考えることもないしね。

そんなんやってるうちに，ある日，学校終わって帰り，何人かで帰ってたら，その警察，観徳亭(クァンドクチョン)の前のね，あそこの警察からどこに移すんか知らんけども，ぞろぞろーっと縄かけられた連中が出てくるんですよ。10人くらいかな。その中にその先生がおったんですねん〈一同：「はあーー」〉。ほんで，学校では，何か，ええ顔なんか，笑(わろ)た顔なんか見たこともないのにね。そのときの先生の表情，今でも覚えてるけどね。ニコーッと笑てね。さも何か，ゴメンないうような顔，言うんか。それが最後で，それからちょっとしたら殺された，いう具合に聞きましたけどね……。

3・1から4・3，6・25へ

《3・1節発砲事件》

――それじゃ，城内（ソンネ）に移られたんは，47年のいつぐらいですか？　何月ぐらいになります？
47年の3月に大きなデモがあって，その後，済州島（チェジュド）の様子，状況が緊迫したんですよ*11。

李：どこでありましたん？

――観徳亭（クァンドクチョン）を中心に済州（チェジュ）のいたるところで。

李：ああ，思い出した。私，行きました，それ〈一同：驚き〉。行きまして，前の方で撃たれたとか言うて，逃げて。行きました。あれ，小学生のときですわ。何回も行ってますわ，それは。

――みんなで行こうか言うて，行くんですか？　人が集まっている言うて，行くんですか？

李：何に反対したかそこまで覚えてませんね。わー［って］先輩らが行くから，学校から一緒に連れられて行ってね。先輩ら言うても，うちらの兄貴らの連中かな。行くから一緒に行って。前の方で鉄砲の音してから，そんなようけは殺されてないでしょ。2，3人やった思うけどね。

――それでも観徳亭（クァンドクチョン）の前だけじゃなくて，病院とかでいろいろあって，十数人亡くなっています［実際には死者6名，重傷者8名］。

李：そうですのん。私が覚えているのは，2，3人は覚えていますが。

――観徳亭（クァンドクチョン）の前ぐらいやったらそれぐらいやと思います。その後，もめごと長引いて，結局，その日十数人くらい死んでいます。

李：あれは何の運動でしたん。あれは共産，共産党のあれじゃないですよね。

――必ずしもそうとは言えないですね，はい。

李：そうでしょう。私もそうや思いますよ。ただ，学生らが主体なってたん違います？

――そうですね，ええ。

李：そやから，うちの兄らの連中や思います。

――あれは要するに，南北に分断，アメリカとソ連によって南北に分断されて占領されているので，統一した国をつくらなあかんというのが一番大きいですね。

李：デモしたってしゃあないのにね〈数名：笑〉。ソ連と米軍が入っとったんでしょ。ちょうど日本で言うたら，北海道にソ連が入ってくるのを，米軍が止めたみたいなかたちで。米軍が止めてなかったら，半島きれいにソ連が，キンニッセイ［金日成］が取ってしまってますやんか。

――それはどうか分かりません。

李：はっきりしてましてんで，あれ。38度線で，李承晩（イスンマン）があれ，大統領になって，米軍の後押しでなったんでしょ。しゃあから，キンニッセイはあそこで止まって，仕方なしに両方へ分かれて。わたしら4・3（ササムサコン）事件聞いたんは，6・25（ユギオ）［朝鮮戦争］に合わせて4・3（ササム）事件（サコン）起こした言うて，聞いてますけどね。ただ，ちょっと時間的にずれてね。済州島が早すぎて。今，問題になっている日本海ですか，向こう言うたら，東海（トンヘ）。東海（トンヘ）沿いに山脈あるでしょ。ちょうど，ウサギの背中の背骨みたいな。北朝鮮からずっと伝わった，何山脈，言うか。

――太白山脈（テベクサンメク）。

李：太白山脈（テベクサンメク），あれ，つたって釜山（プサン）まで下りて来るいうのに合わせて。済州島でもあれね。私らそのように聞いてます。

――それ，日本で聞きました？　韓国で？

李：いや，向こうおったとき，起こったとき。そのときからすでにそう言うていましたよ，私らは。山脈つたいにずっと来てましたよ。この前，初めて私ら聞きましたんやけど，南朝鮮解放軍，人民軍いうのがあったとか言うて。結局，キンニッセイのあれでしょ。そやから，共産党でしょ，結局は。

――あのデモの10日ぐらいあとに，大きなストライキがあるはずなんですけど。そういうのは，ご記憶なんかありますか？　店なんか閉めてるとか。

李：ストライキ？　えー？　店なんか閉めた？　閉めてへん，そんなん……。あんな時代でもね。観徳亭（クァンドクチョン）の前に，バー開店したの覚えてます（笑）。学校の先生ら，帰り，バー入って行きよる（笑）。あんな，学校でくそまじめな顔しとった連中が入って行きよる（笑）。

《李徳九の死》

――満12歳で農業学校お入りになったということは，ちょうど4・3の期間？

李：それがね，こっちは城内おったからね。そやから6・25事件あるでしょ。あれと4・3事件と，どんだけ空いてますの？　それをちょっと聞きたかったんです。

――2年くらいですね。

李：2年。ああそんなもんやね。4・3事件終わったん，2年くらいで終わってますのん？

――大がかりな行動は，だいたい1年くらいで終わってますけども，

李：1年。徳九［李徳九］死んだんは？

――49年の，えっと何月やったかな。6月，7月，それくらいやったな[49年6月死去]。

李：私ら学校から帰り，死んだん，ぶら下がってるのん，見て帰りましたからね。

――あの観徳亭の前？

李：そうそう，あの坂下ったとこ。観徳亭から七星路，言うてね，斜めの道がありますねん。その入って中間ぐらいのとこ，右っ側に，どういう施設の前だったのか，そら分からないけど，多分警察関係のあれやろね，その場にむしろ引いて，むしろの上にその首を置いて，これは二番目やいうて，紙にも書いて。李徳九のすぐ下の家来や，いうことで。ほな，子どもら行って，こんなして下からのぞいてね。切ったとこ，どないなってんねんいう調子で。

さっきこの，書いた紙［江原道にいる次兄が送ってくれたファックス］で見たらね，あの李徳九さんが最終的に一人でしょ。一人で麦畑に隠れて，年寄りのおばあさんに見つかって，密告されて捕まって，殺された。おそらくこれもう，同じ村でも相当な人数ね，同じ仲間の，年ごろの連中おったけども，最終的に一人で見放されてますやんか。

張：お父さん，こう十字架に括られて，しゃもじをここへ入れられて。

李：それは見たよ。あんなんまだ，もう，ほんまに……。それよりも，あの，首切って，あれは2番目やとかて言うてたな，徳九のすぐ下の人間。首切って刺してから。もう，そこら練り歩いて，そんなんやっとったしね。その首を今度は，どこそこの前に置くからみんな見にこい，いうて言うたら，子どもら見に行きますやんか。そしたら見に行って，腫れあがった首をこうのぞいて，切り口をみんな見るんです。私らこっちではチャ

ンバラ見てますやんか。チャンバラ見とったらあの，一回で斬るでしょ，一刀両断いうて。見たらもう，これナタで切ってるのちゃうか，とかね。切り傷ももう何ヵ所もつけたりして。

徳九が捕まる前にその家来が先に捕まって，そのあとに徳九が十字架に括りつけられて，ここスプーンさして。それが最後でしたわね。もちろん徳九死んだら最後やったやん。それまで手下の者らはみな日本に逃げて来てるでしょ。同じ新村のその者，それでこっち来てみな総連の，あの偉いさん，偉いさんか何か分からへんけど，総連の仕事やっていたのと違います？　で，死ぬまで済州島，あの「よう帰らん」言うおじさんもおったしね。

しやから，さもね，長いみたいやけどね，時間的に計算してほんの短い時期なんですよ。私の頭では4・3事件と6・25事件とつながってますねん。しやから，どこまでが4・3事件で，どこからが6・25事件か言うのんね。あの，ちょっとこうね。しやから，たぶんほんの短い時期やったやろうな，思ってましてんけど。

うちの兄貴も4年先輩の同じ農業中学でしてんけど。あれは農科でしてんけど，あの兄貴が李徳九のあのー，まあ，だいぶ年離れてるからね，一緒に［山へ］上がったんかどうか分かりません。しやけど同じように，向こうの若い連中と同じ新村やからね。もう山行っとったんか，もちろん母親が城内，来い来い言うても来ないんですよ。新村，まあ，同じ連中とつるんでから山上ったか，そこまでは未だに聞いてませんねん。

——李徳九は新村の東村ですか？　西村ですか？

李：いや，東村ですよ。もちろん。

——李徳九も全州李氏で桂成派と［ファックスに］書いてましたね。

李：徳九と行列字*12のあれ，ありましたよ。あれ何代くらい？　4代くらい離れてんのん違います？　うちの親父らと同じ歳やけど，そんなに分かれているのは，うちの親父らはあそこは妾の筋や言うんですよ。これ[ファックス]見たら，遠い筋や言うでしょ。歳いったおじいちゃんがだいぶ若い娘に産ませた。たぶんうちの親父が言うてたことが合うてますわ。妾に産ませた筋やいうの。徳九の兄さんの佐九いうのがおったんやけどね。年がそう離れてないと思うけど，徳九の兄さんの佐九いう人はしょっちゅう顔見たこともあるしね。狭い村やから，しょっちゅう集まりあるでしょ。そういうところへ佐九いう人はしょっちゅう来てましてん。愛嬌もあるしね。しかし，徳九いう人は，全然見たことないんですよ。

大きなって私が考えるのは，これで見たら顔はあばたやしね，妾の子でしょ。やっぱり，小っさいときから相当抵抗あったん違います？　外出るのに。その分，兄さんがみんなカバーしていたと思いますよ。おまけにあんなんして，そのうちに見ておれといって，がんばったん違いますか。立命館も行って，無理に学徒兵として召集されたんかどうか分からんけれども，ひょっとしたら偉いさんなったいうてね。日本の軍隊入って将校までなったいうたら，済州島でいうたら，えらい出世頭みたいな形になりますやん，新村（シンチョン）みたいなところでは。張り切っているところに，終戦になってしまって。これ私の考えですよ。みんな見返したろうと思っていたのに，もうちょっと当てが外れて。ひょっとしたら，そのときに北のほうから誘いがあって，乗ったん違いますかね。おまけに，トップ取れるもんやから。

小学校のときもおりましたよ。ちょっといじめられたら，わしそのうち陸軍大将になったら，お前らみんな刑務所に入れたんねんって（笑）。そういう時代やったから。そらあ，軍隊で朝鮮人で将校ぐらいになったら，朴正熙（パクチョンヒ）も同じ違いますか。やっぱり，将校までなると，あと，やってんの見たら，当時の日本の軍隊のやり方ですやんか。まったく，戦争終わって出来なかったことを，あとでみんなやってますわ。徳九（トック）もそういうところあったん違うかな，思うて。あんな歳いったおばさん連中とか，中学生，どういうふうに巻き込んだか知らんけど。

うちは城内（ソンネ）やったから，城内（ソンネ）に中学校が三つありましてん。そこへ，新村（シンチョン）から同じ，徳九（トック）はまだ結婚してなかったかも知らんけど，さっき言った兄さんの佐九（チャグ）ね，その息子がさっき言うた，うち兄さんらと同じ年代でしてん。あれは農校（ノンギョ）［農業中学校］じゃなしに，五賢（オヒョン）*13いうてね。五賢（オヒョン）行ってましてんわ。小学校の時，新村（シンチョン）で一緒やったから，また，疎開行ってたとき長かったから。それでも，学校は農校（ノンギョ）一緒に行かれへんかったけど，同じあれ［出身］やから，いつもうちの中2階の2階のほうの下の小っさい部屋ね。そこで，うちの兄らの連中がみんなつるんでかたまっていましてん。絶えず，5，6人，ゴロゴロ，ゴロゴロ。下では中学生がゴロゴロ，ゴロゴロ。上の表では警官隊がゴロゴロ，ゴロゴロ〈数名：笑〉。そういう家でしてん。

しやから，両方のあれね。よう分かってましたよ。まだ，わたしら小学校5年か6年，それとも中学校1年までのほんの短い間やけれども。1階の上の表側だけ戒厳令*14で，みんな銃でも九九式（くくしき）*15言うてね。九九式（くくしき）言うたら，日本軍が使（つこ）うとった鉄砲持って。陸地から来た警官隊が張っているし，裏では中学校3年生，うちの兄らとつるんでいた連中やからね。あの連中が，マルクスですか，マルクス，レーニンとかいうああいう本持っているんですよ。今ではちょっと考えられへんようなね。あれ，みんな結局は李（イ）

徳九(ドック)らが影響違います？　たぶん，そうや思いますよね。

《次兄の逮捕》

――デモにお兄さんらと一緒に行ったとか，そういう記憶あります？

李：いや，うちの兄はね，逃げ回ってましてん。兄がその新村(シンチョン)から，なかなか来いひんから，うちの母親がね，毎日ね，新村(シンチョン)に連れに，その，息子連れに，あの，日課のように通ってましてん。

――東門通(トンムントン)からですか？

李：そうそう。そんで東門通(トンムントン)を出たら，その外はあの，当時暴徒(ボクト)と言うてました。もう，門の外は暴徒(ボクト)だらけやて言うとった時代に，うちらの母親は，新村(シンチョン)おる息子「捕まえて来る」言うてから出たら，その暴徒(ボクト)の若い子らがね，あの道ばたの麦畑，みんな隠れてね，ぱっと上がって来てから「どこ行くねん」とか，うちの母親に。言うたら，うちの母親はもう自分の子どもみたいな連中やからね。

うちの母親には一つね，信条があったんですよ。もう隠れてすることは絶対成功しないから，ゆうね。ほんで，その子らにも，もうそういう説教しながらね〈一同：笑〉，歩いてましたよ。まあ，自分の息子ぐらいに思うたん違いますか。「お前らそんなに隠れてしたら，もう絶対成功しないから」言うてね，「やめとけ，やめとけ」言うて。もう，結局それが合(お)うとったんですわな。

ほんならもう新村(シンチョン)行ったら，この，うちの兄貴は逃げ回るんですよ。麦畑の，その，畑のあぜ道をね，畑挟んで向こうとこっちで，もう親子がにらみっこしてね，母親も絶対この，もう死んでも離すか言うて。それを何回もそういう状態で。とうとううちの兄貴があきらめて，そんで［城内の家に］来たんですわ，母親に連れられて。来たいうことは自分ら仲間，置いといて来たいうことでしょう。

それからしばらく経ってね，まあ，うちその田舎から，さっき言うた村の，部屋のとこへ，みな溜まり場みたいにしとった連中が持ってきた本や思いますねん。うちの兄にこう，本を一冊，まあ辞典やったか何か，覚えてないけども，兄の机の上置いてあるやつ，私，何とかこう，開いてみて，その中にね，お前いついつ何日まで殺すいうね，そういう文章，私その時，見たことあるんですわ。結局，「お前，仲間裏切ったから殺す」いうね。まあ，それ兄に言うたら，兄，「そうか」言うて。やっぱり身に覚えあったんでしょうね。仲間裏切ったわ，城内(ソンネ)来たわ，城内(ソンネ)では今度，刑事らがもう絶えず，あの，警戒してますやんか。それで，あそこの誰はあそこで，徳九(トック)らと一緒におって来たいう

の，すぐ情報入ったん違います？　もうさっそく，捕まえて行ってね。あの，［次兄が］農業中学4年の時。

――お兄さんが捕まえられたのですか？

李：はい。そやから今で言うたら高校1年の時ですわ。新村（シンチョン）から帰ったわ，すぐ警察捕まって，ブタ箱放りこまれてね，そんならうちの親父は「まだ子どもをお前，捕まえて」って言うて毎日警察行きよる（笑）。ほんでやってももう，相手にしてくれないしね。しゃあないから，うちの母親が裏から手回して。ちょうど隣に，当時は刑事いうたらみんな偉いさんでね。妾持ったりしてね。あの，将校なってもそんなんでしたわ。軍隊のね，兵隊の将校なっても，みんなそういう女囲うて。で，そこへ行ってからうちの母親はその女に頼んで，何とか，あのまだ，まあお金も使（つこ）うた思いますけどね。

んで，あの……1ヵ月ですか，ブタ箱1ヵ月で，で，出てきたんやけど。出てきたときでも，その，ずっとうちの，毎晩こう，紗羅峰（サラボン）の上行って，鉄砲の音するとか言うてましたんや。それを，うちの兄をジープ乗せて，うちの家までね，来たんですよ。ほんで降ろしてくれるか思うたら，降ろさんと，それも坂上って行きましたんや，うん。ほな，てっきり紗羅峰（サラボン）で殺される，思いますやん。ほーら，うちの親父やら母親やら裸足でそのジープ追っかけて，坂上ったみたいね。ほんなら途中で，坂の上でね，Uターンしてね，下りてきてね，笑いもってね，うちの兄を降ろしといて行ったんです。結局，おちょくられてる，言うんかね。結局もう，ちょっと，どういうあれか分からんけど，まあ遊ばれたん，言うんか。それでももう，あの……（間）……あれ，考えてみたら晩じゃないね，昼間やな，あれ。

ちょうどあの，その裏から回ったうち，トイレあって，トイレに豚飼（こ）うて。トイレの入り口に畑，当時はキムチなんか漬けるとき［のカメ］なんか，畑へね，みな何するときに，おしっこ溜めたやつをみな担いで行って，何するために，おしっこみんな溜めるんですよ。なら，その兄貴が1ヵ月間ブタ箱おったから，その，汚れを落とすいうことでね，その溜まったおしっこでね，わーっと母親がね，かけてね。あれでも弟ら見て笑（わろ）うてますねん（笑）。ほんなら兄は「もうっ」てね，臭がってね，ションベンかけられてね(笑)。ほんま，なんか，あれ，消毒なるんでしょう，あれ？　何か蜂に刺されても，あれ，ションベンかけるぐらいやから。

――中で拷問されたりとか，そんなことは？

李：それ，あったん違います？　そやけど何しろ，子どもですやんか，まだ高校1年やか

ら。まだ子どもやのに，まあはじめから殺す気はなかった，思うんやけどもね。そやけど，こっちはもう，毎晩のように，あんな殺されてるのを見てるからね。もういずれ殺される思うて，うちの母親がもう，あらゆる手，使(つこ)うて，刑事のお妾さんとこまで行ってから頼んだりして。ほんで，出て来たわ，いついつまで殺すいう，そういう脅迫はされてるわ，でしょ。うん，それでもう軍隊入りましたんや。高校1年の時。出てすぐですわ。志願したら高校1年で十分入れた。

——じゃ6・25(ユギオ)の起こる前ですよね？　軍隊に入ったのは。

李：いえいえ，6・25(ユギオ)起こってからですやんか。

張：よく青年が，済州(チェジュ)の青年は行ったっていうから，たぶんそのとき。

李：だから，あの，田舎がそんなん危ない，あの，うっとおしいから，いうことで，家[家族]は［大阪に］来たんやけど，兄貴はもう田舎残ったんですよ。

——城内(ソンネ)に，アボジ［李さん］が城内(ソンネ)に来られて1年ぐらいしてから，お兄ちゃんが来られたんですか？

李：たぶん……。そやけどね，農業中学で，私1年入った時に，うちの兄貴が4年で，畑仕事やってんの，私見てんやけどね（笑）。

そやからほんま，こう短い間に凝縮されてる思いますねん，あらゆるものが。そんな1年単位とか，そんなんじゃなしにね，何日単位とか，何ヵ月単位の，何ヵ月もいってないと思います。

うちの母親がそんなんね，息子，ああいう暴徒(ボクト)らと仲間入ってんのね，我慢して1日もよう寝ませんよ。毎日のように行っとったんやからね，うん。そやからもう，とうとう兄貴もあきらめて，そんで戻って来ましたんや。今度は仲間らからは，ああいう具合に脅迫されて。警察からは1ヵ月放り込まれるわ，田舎からはいついつ殺されるやて。行くとこありませんやん，兄貴はね。

（以下，次号）

＊本研究は科学研究費補助金（課題番号18530386）の助成を受けたものである。

【用語解説】

＊1　関東大震災時の朝鮮人虐殺

1923年9月1日，関東大震災が起こると，朝鮮人による放火･投毒･暴動などの流言が発生し，この流言は軍や警察の通信網などを通じて各地に広まった。その結果，1日の夜から6日ごろまで，流言を信じた日本の軍・警察・自警団・民衆などにより，多くの朝鮮人が虐殺された。朝鮮人ジャーナリストや留学生が組織した「朝鮮罹災同胞慰問団」の調査結果によると犠牲者数は6,433人となっているが，当時の治安当局は虐殺事件を隠蔽し，また調査を監視，妨害したため，正確な犠牲者数は今も把握できない。1923年当時の関東地方在住朝鮮人は14,144人であったという。

＊2　新村（シンチョン）（東村（トンチョン）・西村（ソチョン））

現行の行政地名で済州市朝天邑新村里。新村里では一周道路より海岸側にある集落を東西2つに分け，東村・西村と呼んでいる。東洞／西洞，あるいは동카름（トンカルム）／서카름（ソカルム）ともいう。東村には大水洞，中上洞，中洞などが含まれ，西村は西上洞，西下洞，西元洞からなる。

＊3　곤밥（コンバブ）

済州島の方言で白米のこと。標準語の”고운 밥（コウン バブ）”（きれいなご飯）に相当する。

＊4　城内（ソンネ）（再掲）

現・済州市内にある，済州城内地域のこと。いにしえより今日まで済州島の中心地区で，4・3事件の時期には道庁をはじめとする官公庁や，企業，金融機関，商店などが集中していた。

＊5　李徳九（イドック）（再掲）

1920年，済州島朝天面新村里（当時の行政地名）生まれ。立命館大学在学中の1943年に学徒兵として日本陸軍に入隊させられ，日本の敗戦後，帰郷して中学校教員となる。47年夏に漢拏山に入って南朝鮮労働党済州島委員会（いわゆる済州島党）の武装部隊に加わり，4・3事件勃発後は遊撃隊3・1支隊長となる。48年8月，南朝鮮人民代表者大会参加のため済州島を脱出した金達三に代わって遊撃隊総責（司令官）となり，最も苛酷な時期の戦闘を指揮する。49年6月に捕らえられて処刑され，その死体は観徳亭広場でさらしものにされた。

＊6　済州南国民学校（チェジュナムクンミンハッキョ）

植民地期に設立された小学校の校舎を解放後に引き継ぎ，1945年10月1日，三徒里に開校された。

＊7　大阪のゴム靴工場

日本のゴム工業は第1次世界大戦勃発以降，急速に発展した。1920年代，大阪のゴム生産は兵庫，東京に次いで全国3位の生産額（全国比17.9%）をあげていたが，他地域に比べて経営規模は零細だった。とりわけ東成区（現在の生野・旭・城東・鶴見区をも含む）にゴム工場が集中して設立され，製品別で最も大きな比重を占めていたのがゴム靴であった。東成区のゴム工業発展は，済州島出身者を主力とした朝鮮人労働者が支えていた（以上，杉原達「ゴム工場の街・猪飼野」『越境する民』新幹社，1999年，を参照）。

＊8　白丁（ペクチョン）

朝鮮王朝の身分制度において，身分上昇の機会が閉ざされた，最下位に位置する賤民（被差別民）。屠殺業や製革業，柳器製造業などに従事した。法的には1894年に白丁という身分は存在しなくなり，1920年代から衡平運動が展開されたにもかかわらず，しばしば特定の居住地や職業に

囲い込まれたり，自由な婚姻が認められないなど，社会生活のあらゆる面で差別待遇を受けていた。

＊9 観徳亭（クァンドクチョン）（再掲）

済州城内地域の中央に位置する済州島で最も古い建造物の一つで，1448年，兵士訓練場・武芸修練場として建設された。官民が公事を論議したり宴会の場としても使用され，島民に親しまれてきたが，1947年３月１日にこの建物前の広場で起こった発砲事件（＊11参照）が，４・３事件の勃発を導くことになった。

＊10 済州農業中学校

1910年，私立義信学校を母体に済州公立農林学校（３年制）として認可を受け開校した。1912年に済州公立簡易農業学校（２年制）に縮小されたが，1920年に再び３年制の済州公立農業学校へと拡張された。さらに1940年に５年制に延長され，学科も分科した（農業科・畜産科）。解放前の済州島における唯一の中等教育機関であったが，植民地末期には日本軍の司令部が置かれた。解放後，1946年９月に済州公立農業中学校（６年制）となったが，４・３事件の期間には，国防警備隊第９連隊本部が駐屯し，学校の運動場に天幕を張って収容所として使用された。「農業学校収容所に監禁されなければ有名人士ではない」と噂されるほど，農業学校の収容所には済州島の各界を代表する人々が収監され，そのほとんどが銃殺された。とりわけ第９連隊が任務を終え第２連隊と入れ替わる直前（1948年12月末）には農業学校に収容されていた人々を集中的に銃殺した。1951年８月31日，６・３・３制への学制改定にともない，済州公立農業中学校は，済州農業高等学校と済州第一中学校に分離改編された。

＊11 3・1節発砲事件（再掲）

1947年３月１日，済州市で開催された３・１節28周年記念大会終了後，街頭デモに繰り出した群衆に対して警察が観徳亭広場で発砲し，６名が死亡，また負傷者の運ばれた道立病院でも理性を失った警察官が無差別乱射し，一般市民が重傷を負う事件が起こった。米軍政と済州島民衆運動勢力の対立を深刻化させたこの事件は，４・３事件勃発への導火線の役割を果たすことになった。

＊12 行列字（トルリムチャ）

同じ一族の同一世代の者が木火土金水の五行の順にしたがって，これを部首に含む漢字１字を共有することにより，一族内の世代の上下関係を明らかにする命名の規則。個人の固有名は残りの１字のみによって示される。朝鮮王朝時代中期，族譜（家系に関する記録）の記載様式が整えられるのにともない普及した。

＊13 五賢（オヒョン）中学校

1946年２月に私立済州第一中学院として認可を受け設立され，1946年10月，五賢初級中学校に改名した。

＊14 戒厳令

1948年11月17日，李承晩大統領は済州道一円に「戒厳」を宣布する大統領令を発し，これは同年12月31日に解除された。「戒厳令」という言葉は，家族を虐殺された人々の証言の中でしばしば言及されるところから，虐殺の根拠として認識されてきたことが分かる。しかし「戒厳令」が実際にどのような法令であり，いつ公布され解除されたのかということが済州島民に広く知られていたわけではない。「戒厳令」の実態とその問題点についてはこれまでも議論されてきたが，とりわけ大韓民国建国後，戒厳法が制定されていない状態（戒厳法公布は1949年11月24日）での

戒厳宣布であったことから，その合法性をめぐる論争は大法院に持ち込まれ，2000～01年にかけて争われた。しかし大法院は，その不法性については明確な判断を留保した。

＊15　九九式（くくしき）

1940年以降の日本軍の主力兵器であった99式小銃。ボルトを手動で操作することで弾薬の装填，排出をする形式のライフル銃。

解放後，米軍の武装解除の指示にしたがって，済州島駐屯日本軍は米軍の済州島進駐までに弾薬・爆薬等を処理し，兵器を集積した。1945年９月28日，米軍は済州島に上陸し，日本軍より降伏文書を受け取ると同時に，武装解除チームの指揮で小兵器の海没作業を開始した。『済州４・３事件真相調査報告書』（2003年）によれば，4・3事件で蜂起した当初，武装隊側が所持していた日本製の99式銃は約30丁にすぎなかったという。他方，討伐隊が日本製武器をどれほど使用していたかは不明だが，４・３事件初期，国防警備隊（韓国軍の前身）では弾薬などが不足する状態であったのに対し，警察には米軍からカービン銃などの新式武器が支給されていたという。